

製品試験成績表

東京都台東区上野7-3-9 3F
 マイティ化学株式会社
 TEL(03)5827-2274
 FAX(03)5827-2275

製品名		マイティCF																					
試験項目	成績	基準値	規格																				
容器の中での状態	一樣になる	かき混ぜたとき、塊がなく一樣になること。																					
塗装作業性	支障なし	刷毛塗りで塗装作業に支障がないこと。																					
乾燥時間(H)(半硬化乾燥)		16以内であること																					
塗装の外観	正常	塗装の外観が正常であること。																					
隠ぺい率	0.90	0.85以上であること																					
上塗り適合性	支障なし	上塗りに支障がないこと。																					
加熱残分(%)	70	65以上であること																					
耐衝撃性	3枚とも塗膜に割れ・はがれを認めない。	3枚の試験片のうちの2枚以上について、おもりの先端の衝撃による塗膜の割れ・はがれを認めないときは、“おもりの衝撃で割れ及びはがれができない”とする	JIS K 5400 8.3.1(耐衝撃性 落球式)に準ずる 素地の変形が極めて少ない場合、塗膜の表面に球体が衝突したときの塗膜の衝撃抵抗性で割れ・はがれの有無を調べる。																				
耐屈曲性	3枚とも塗膜に割れ・はがれを認めない。	試験片3枚について、塗膜に割れ・はがれを認めないときは“折り曲げに耐える”とする。	JIS K 5400 8.1(耐屈曲性)に準ずる 塗膜を外にして試験片を折り曲げたときの割れ抵抗性を調べる。																				
付着性	10	試験片の塗面に付いた碁盤目状の傷の状態を観察して、JISK5400 8.5.1の表18に準じ、評価する。	JIS K 5400 8.5.2(付着性 碁盤目テープ法)に準ずる 試験片上の塗膜を貫通して、素地面に達する切り傷を碁盤目状に付け、この碁盤目の上に粘着テープをはり、はがした後の塗膜の付着状態を目視によって観察する。																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">JISK5400 8.5.1 表18 碁盤目試験の評価点数</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">評価点数</th> <th style="width: 90%;">傷の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td>切り傷1本ごとが、細くて両側が滑らかで、切り傷の交点と正方形の一目一目にはがれがない。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td>切り傷の交点にわずかなはがれがあつて、正方形の一目一目にはがれがなく、欠損部の面積は全正方形面積の5%以内。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>切り傷の両側と交点にはがれがあつて、欠損部の面積は全正方形面積の5~15%。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>切り傷によるはがれの幅が広く、欠損部の面積は全正方形面積の15~35%。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>切り傷によるはがれの幅は4点よりも広く、欠損部の面積は全正方形面積の35~65%。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td>はがれの面積は全正方形面積の65%以上。</td> </tr> </tbody> </table>				JISK5400 8.5.1 表18 碁盤目試験の評価点数		評価点数	傷の状態	10	切り傷1本ごとが、細くて両側が滑らかで、切り傷の交点と正方形の一目一目にはがれがない。	8	切り傷の交点にわずかなはがれがあつて、正方形の一目一目にはがれがなく、欠損部の面積は全正方形面積の5%以内。	6	切り傷の両側と交点にはがれがあつて、欠損部の面積は全正方形面積の5~15%。	4	切り傷によるはがれの幅が広く、欠損部の面積は全正方形面積の15~35%。	2	切り傷によるはがれの幅は4点よりも広く、欠損部の面積は全正方形面積の35~65%。	0	はがれの面積は全正方形面積の65%以上。				
JISK5400 8.5.1 表18 碁盤目試験の評価点数																							
評価点数	傷の状態																						
10	切り傷1本ごとが、細くて両側が滑らかで、切り傷の交点と正方形の一目一目にはがれがない。																						
8	切り傷の交点にわずかなはがれがあつて、正方形の一目一目にはがれがなく、欠損部の面積は全正方形面積の5%以内。																						
6	切り傷の両側と交点にはがれがあつて、欠損部の面積は全正方形面積の5~15%。																						
4	切り傷によるはがれの幅が広く、欠損部の面積は全正方形面積の15~35%。																						
2	切り傷によるはがれの幅は4点よりも広く、欠損部の面積は全正方形面積の35~65%。																						
0	はがれの面積は全正方形面積の65%以上。																						
付着強さ	2.04N/mm ²	付着強さは次の式によって算出し、7個(試験片7枚)の平均値を正数に丸める。 $A = T / 16$ A: 付着強さ(N/cm ²) {kgf/cm ² } T: 最大引張荷重(N) {kgf}	JIS K 5400 8.7(付着強さ)に準ずる 塗膜の付着強さを、引張試験機を用いて測定する																				
耐摩耗性	0.339g	規定回転数当りの摩耗減量は、試験片3枚以上について試験し、次の式によって算出し、その平均値を整数に丸める。 $W = (A - B) \times R / N$ w: 規定回転数あたりの摩耗減量(mg) A: 試験前の試験片の質量(mg) B: 試験後の試験片の質量(mg) R: 規定回転数 N: 試験回転数	JIS K 5400 8.9(耐摩耗性)に準ずる 試験片をテーパ形(の)の摩耗試験機に取り付け、摩耗輪による塗膜の摩耗の程度を調べ摩耗減量で表す。																				
耐洗浄性	表面のはがれなし。 摩耗による基板の露出なし。	試験体を、洗浄試験機の試験台に塗付け面を上向きにして、水平に固定し、あらかじめ処理したブラシを塗布面に乗せ、ブラシに約450gfのお荷重を加えながら表面をこすり、外装薄付け塗材のときは500回、内装薄付け仕上げ塗材のときは300回ブラシを往復させ、その後試験体を試験機から取り外して水で洗い、ブラシでこすった跡の中央に当たる長さ100mmの部分に、表面のはがれ及び摩耗による基板の露出の有無を目視によって調べるものとする。	JIS A 6909 7.14(耐洗浄性試験)に準ずる																				
耐塩水性	試験片2枚の塗膜に膨れ・さび・割れ・はがれを認めない	試験片2枚の塗膜に、膨れ・さび・割れ・はがれを認めないときは、“塩化ナトリウム溶液に浸しても異常がない”とする。	JIS K 5400 8.23(耐塩水性)に準ずる 試験片を塩化ナトリウム溶液に浸して、塗膜の状態の変化を調べる。																				
耐湿潤冷熱繰返し	塗膜のはがれ、ひび割れ及び膨れ共になし。変色及び光沢低下なし。	試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±3℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰り返した後、試験室に2時間静置し、塗膜のはがれ、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べるとともに、変色及び光沢低下の程度を基準の試験体と比較するものとする。	JIS A 6909 7.11(湿潤繰返し試験)に準ずる																				
耐複合サイクル防食性	試験片3枚共に塗膜に、ふくれ・はがれ・さびを認めない	試験片3枚のうち2枚以上の塗膜に、ふくれ・はがれ・さびを認めないときは、“36サイクルの試験に耐える”とする。	JIS K 5622 7.11(耐複合サイクル防食性)に準ずる。 複合サイクル試験機で表3に示す複合サイクル条件の試験を36サイクル行った後、試験片を取り出して流水で洗い、2時間おいた後、目視によって塗膜を調べる。																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">表3 複合サイクル試験機の複合サイクル条件(JIS K 5622 7.11)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">塩水噴霧試験 30±2℃</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">湿潤試験 30±2℃ (95±3)%RH</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">熱風乾燥試験 50±2℃</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">温風乾燥試験 30±2℃</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">← 1サイクル(6時間) ←</td> </tr> </tbody> </table>				表3 複合サイクル試験機の複合サイクル条件(JIS K 5622 7.11)				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">塩水噴霧試験 30±2℃</td> </tr> </table>	塩水噴霧試験 30±2℃	→	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">湿潤試験 30±2℃ (95±3)%RH</td> </tr> </table>	湿潤試験 30±2℃ (95±3)%RH	→	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">熱風乾燥試験 50±2℃</td> </tr> </table>	熱風乾燥試験 50±2℃	→	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">温風乾燥試験 30±2℃</td> </tr> </table>	温風乾燥試験 30±2℃	→	← 1サイクル(6時間) ←			
表3 複合サイクル試験機の複合サイクル条件(JIS K 5622 7.11)																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">塩水噴霧試験 30±2℃</td> </tr> </table>	塩水噴霧試験 30±2℃	→	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">湿潤試験 30±2℃ (95±3)%RH</td> </tr> </table>	湿潤試験 30±2℃ (95±3)%RH	→																		
塩水噴霧試験 30±2℃																							
湿潤試験 30±2℃ (95±3)%RH																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">熱風乾燥試験 50±2℃</td> </tr> </table>	熱風乾燥試験 50±2℃	→	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">温風乾燥試験 30±2℃</td> </tr> </table>	温風乾燥試験 30±2℃	→																		
熱風乾燥試験 50±2℃																							
温風乾燥試験 30±2℃																							
← 1サイクル(6時間) ←																							